

外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
脳神経内科	午前				済生会熊本病院医師 (2,4週)	
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (隔週)				
消化器内科	午前	長島 不二夫	藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師	済生会熊本病院医師 (隔週)	
腎臓内科	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午前					
	午後					荒川 和也(2,4週)
禁煙外来	午後					藤岡 正導
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

- 受付時間／午前8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
- ※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
- ※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。
- ※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

休診のお知らせ

ホームページに最新の休診情報を掲載していますので、ご覧ください

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

- 1.良質な医療を公平に受ける権利
- 2.診療の内容等について十分な説明を受ける権利
- 3.治療方法など自分の意志で決定する権利
- 4.個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
- 5.診療記録の開示を求める権利
- 6.あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

- 1.自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
- 2.わからない事柄について質問する義務
- 3.病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
- 4.他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



52 Take Free.
2020.1



自動精算機を導入しました

医師年頭挨拶

リハビリテーションだより「回復期リハビリテーション病棟」
部署紹介[支部(売店・レストラン)]／みすみ病院のできごと
外来医師一覧

[特集] 「第10回 健康フェスタ2019」を開催しました。

[お知らせ] 人間ドックのご案内

「さいせい」2020年 新年のご挨拶



院長
庄野 弘幸

あけましておめでとうございます。

2020年は東京オリンピックの年ですね。昨年のラグビー同様、日本選手のすばらしい活躍を期待したいと思います。「ニッポン、ガンバレ」と大声で応援しようと思います。今から楽しみです。

「医療・福祉を通じて、安心して生活できる地域創りに貢献します」が、みすみ病院の理念です。

超高齢化社会になった三角・上天草地域で、住民の方が安心して生活できるためには、やはり病院の存在は欠かせません。

皆さんに「みすみ病院はよかあ。安心しとってよかもん。」とってもらえるように、そして皆さんが元気にお家に帰れるように、笑顔で毎日を暮らしていただけるように、そして「うちの孫もみすみ病院で働かせよごたる」と思っていたけりるように、スタッフ一同、ワンチームになって、愛される素敵な病院を目指したいと思います。

今年は、病院全体を挙げて、何か少しずつでも「かいぜん」できるようにと考えています。皆さんからは、これまで「ご意見」を頂戴してきましたが、今年はより多くの「ご意見」をいただければと思います。

勿論、いただいたご意見のすべてを叶えることはできませんが、可能な限り、そこに近づけるような努力はしたいと思ひます。

今年もよろしくお祈ひします。



名誉院長
瀬井 圭起

令和の年の最初の新年は実に穏やかな良い天気を迎える事ができ、初日の出もいつもより、より輝いているように見えました。新年の一般参賀には天皇后両陛下、上皇夫妻もご一緒に笑顔で手を振っておられましたし和やかな雰囲気の中、七万余の参賀者の顔も皆笑みに溢れ、今年こそ災害の少ない良き年を願っているようでした。しかし、世界を俯瞰してみますと、自国優先のナショナリズムの台頭が様々な問題を引き起こしています。イギリスのEU離脱、アメリカ中国の貿易問題と覇権争い、アメリカ、イランの一触即発情態、中国、ロシア、韓国、北朝鮮とのままならぬ諸問題、実に困ったものです。しかし、私達が最も優先して対応すべきことは地球温暖化による気候変動です。2030年には地球は危機的状態になり多くの島が海に沈むといわれています。今こそ人類はワンチームなるべき時なのに一体どうなるのでしょうか。国内にはIR汚職、桜を見る会などダーティな問題も盛りだくさん抱えています。が、今年の日本の最重要課題は何としてもオリンピックパラリンピックを成功裏に終わらせることでしょうか。しかし、私達、済生会みすみ病院の最重要課題はしっかりした体力で病院の理念を遵守して宇城、上天草地域の皆さんと共に今年もまた大過なく一年を過ごすことこそが第一目標です。

新年早々暗い話で申し訳ありませんが、厚労省は「5年後の2025年に認知症の高齢者が700万人に達する」との結果を発表しました。「65才以上の5人に一人が認知症の時代」到来です。

認知症には脳卒中が大きく関与します。脳卒中は脳の細胞を壊して直接「血管性認知症」を引き起こすだけでなく、軽度の「アルツハイマー型認知症」を重症化させるなど間接的にも認知症の大きな原因となります。そこで認知症を防ぐために、まず脳卒中の原因となる高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の予防から始めましょう。

最近の研究では、認知症発症の約30年前からすでに脳の変化は始まっているとされていますが、普段から脳の活性化を図る努力も必要で、そのためには他人との会話が非常に有効です。家族や近所の人たちとの接触が少なくなっている昨今、会話の機会をすこしでも増やすためいろいろな集会や寄り合いに積極的に参加しましょう。また通所リハなども「自分はまだそんな年ではない」などと毛嫌いせず一度利用してみてください。

認知症時代を迎え、「5人に一人」に入らないために、脳卒中の予防と積極的会話の機会を増やす努力を今のうちから心がけておきましょう。



名誉院長
藤岡 正導

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、令和元年として記念すべき新しい時代が始まりました。

当院消化器内科にも新戦力として長島不二夫先生に加わっていただきました。

おかげで、長年の課題であった日本消化器内視鏡学会の指導施設に昨年12月1日付で認定されました。

機材の設置状況はもとより、指導医、専門医による十分な指導体制がとられていることや、内視鏡検査室専属のメディカルスタッフがいること、研修カリキュラムに基づく研修が可能であること等々をクリアすることができました。

宇土・宇城・上天草・天草などの近隣地域で指導施設は天草地域医療センターと当院の2カ所しかありません。

認定された責任を果たし、地域の皆様に還元できることを目的に努力していく所存です。今年もよろしくお祈ひ申し上げます。



副院長
藤本 貴久

あけましておめでとうございます。

令和最初の新年を迎えることになりました。日々の医療は途切れることなく、本来節目などは縁遠いはずですが、やはり新しい年を迎えますと背筋を伸ばすような気分になります。昨年はラグビーワールドカップで盛り上がり“one team”という言葉が日本中で聞かれました。今年も東京オリンピックが控えており、また“one team”というフレーズを耳にすることが多いでしょう。当院も病院だけの“one team”ではなく、地域の皆様と“one team”となって進んでいけるように取り組んでいきたいと思ひます。

本年もどうぞ宜しくお祈ひ申し上げます。



診療部長
田辺 大朗



「さいせい」2020年
新年のご挨拶



整形外科部長
西口 雅彦

明けましておめでとうございます。昨年は消費税増税が行われ、生活環境もより厳しくなりました。病気や怪我に懸かる費用を増やさない、できれば減らすためには健康であることが基本ですが、当たり前ではありません。生活習慣の改善と日々の努力が必要です。気づかずにいる危険なこと、それは“動かない事”＝“身体を動かさない不活発な生活”＝“不動の生活”です。半場道子先生の著書“慢性痛のサイエンス”に百寿のためのアドバイスが書かれており紹介します。

デスクワークで座位姿勢を長時間続けたり、起きている時間帯の約60%を座位姿勢で占めている人が沢山います。現生人類ホモ・サピエンスの誕生から約20万年ですが、旧人類を含めた数百万年の歴史の中で、人類はつねに「身体を動かす種」でした。

不動の日常では、身体の熱量生産が小さく(カロリー消費が少なく)、変形性膝関節症(ロコモ)、肥満(メタボ)、心血管系障害が増加します。こまめに身体を動かし、座位姿勢をたびたび転換する日常週間をつけると、抗重力筋(脚の筋肉)の萎縮を防ぎ万病の元となる慢性炎症(燃焼されずに貯まる脂肪や老廃物、活性酸素)を抑制できます。百薬の長は筋運動(歩くこと)にあります。健康向上に好効果をもたらすのは、通勤時の歩行、駅の階段昇降、自転車での通学通勤、家事労働、買い物、農作業、荷物の運搬など、日常的に継続可能な有酸素運動です。額に汗がうっすらと浮かぶ程度の、日常的な筋運動が慢性炎症を抑制し筋萎縮(ロコモ・サルコペニア)の防止に大変効果があります。

健康長寿を目指さなければ、日本の医療や財政は破綻します。高齢者の虚弱状態をフレイルと呼び、病気や環境の変化に弱くなっています。口腔の衰えをオーラルフレイルと呼びます。80歳で20本の歯を残そうというハチマルニイマル運動があります。筋肉の衰えをサルコペニアと言います。筋肉が減り筋力(握力)が落ちると、身の回りのことが出来なくなり介助や介護が必要となるだけでなく、死亡する危険、寿命も短くなります。何でも食べれる口腔状態を維持することで栄養をとり、筋肉の衰えを防ぐため運動を続けることが健康には大切です。

腰痛や骨粗しょう症、筋肉、膝関節の痛みは整形外科に相談して下さい。

令和、初の新年で干支(えと)は子(庚子(かのえね))となります。庚は草木の成長が止まり、花を咲かせて種子を残す準備状態、子は種子の中で新しい生命を育てている状態であり、変化を求めて新しいことに挑戦するのによい年と言われています。

今年は、天皇陛下の還暦、東京オリンピック、はやぶさの帰還と災害や政治・経済等問題が多かった昨年に比べて、何か良いことが起こる予感がいたします。ちなみに前回の庚子(1960年・昭和35年)はローマオリンピック、カラーテレビ放送開始、プロレスの馬場・猪木デビュー、インスタントコーヒー、家付き・カー付き・婆抜き等がありました。その前(1900年・明治33年)には第2回パリオリンピックが開かれています。

目前に迫った東京オリンピック・パラリンピックは、皆さんの今年最大の関心事です。チケット入手困難等で観戦できる方は限られると思います。小生は、酷暑の中で金メダル30個に向けて涼しい部屋からTVを通して声援を送りたいと思います。

皆様の年頭所感はいかがででしょうか、今年は何事においても積極的に前向きな姿勢で生きるためには良い年だと思われまふ。お互いに健康で有意義な一年を送りたいものです。



麻酔科
尾方 信也

2020年、気持ちを新たに毎日をお過ごしでしょうか。年末年始は当院でも患者さんが救急外来に多く来られる時期となります。今年インフルエンザの患者さんは思ったほど増加せず新年を迎えました。しかし、例年通り、嘔吐下痢の患者さんはちらほら見かけています。“おなかをこわす”という暖かい時期を思い浮かべる方も多いと思いますが、一年を通じて感染性腸炎の患者さんはお見かけします。今の時期はノロウイルス等もあり、手洗いの習慣はいつでも大切ですし、特に自分が感染性腸炎になったときは、ご家族に病気がうつらないように、手洗いを十分に行い、トイレのドアノブ等からうつらないように心がける必要があります。

これからまたさらにA型インフルエンザがはやるのかはなんともいえませんが、うがいや、手洗い等の習慣をご家族みんなでおこなって、病気の予防に心がけてください。

今年一年が良い年となられるよう、病気にならないように気をつけてお過ごしください。



外科
甲斐 幹男

新年明けましておめでとうございます。いよいよ西暦2020年がやって来ました。何といても今年東京でオリンピックが開催される年です。楽しみがまた増えましたが、月日が早く過ぎ去ることに改めて驚かされる今日この頃です。

昨年は日本で初めてラグビーのワールドカップが開催されました。日本チームが新たな歴史を作り、その大活躍に感動させられました。「ワン チーム」という流行語まで生まれました。

少子高齢化が進む中で済生会みすみ病院はマンパワー不足などの深刻な問題をかかえております。個人的には、一般診療、救急診療、当直、研修医の指導など微力ながらがんばってきました。今、まさにみすみ病院の全職員が力を合わせて「ワン チーム」になる時ではないかと思えます。また、政府による働き方改革が進んでいますが、仕事を能率よくてきぱきこなす必要性も出てきました。昨年は医師のマンパワーが少し増えました。病院全職員の力をお借りして今まで以上に頑張っていこうと思えます。

昨年末から厳しい寒さが続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。インフルエンザや感染性胃腸炎流行の兆しが見えております。外出から帰宅された際には是非うがいや手洗いを励行して下さい。今年も皆様が健康で幸せな生活を送れますよう、心からお祈り申し上げます。



消化器科
築村 哲人

あけましておめでとうございます。今年も宜しく願いいたします。昨年は、ラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界大会が熊本で開催され大いに盛り上がった年となったと言えるでしょう。私事ですが、昨年一番感動した出来事は、はやぶさ2の小惑星りゅうぐうへの着陸成功です。まさにONE TEAMによるmission達成だったと賞賛いたしております。今年も東京オリンピックが控えていますが、はやぶさ2が今年末に地球に帰還予定とのことで年末にもう楽しみが向いていっています。さて、慢性腎臓病の発症・進行予防にはチーム医療がかかせません。私も、今年もONE TEAMの一員として慢性腎臓病の予防・治療に精進していく所存です。皆さまのご健康を祈念いたします。



腎臓内科
町田 健治

あけましておめでとうございます。昨年中はみなさまに大変お世話になりました。今年は、少しは皆様のおやくに立てるようにまた、スタッフの皆さんに気を配れるよう余裕を持って仕事ができるよう努力して参ります。

今年もよろしく願いいたします。



消化器内科
長島 不二夫



リハビリテーションだより
回復期リハビリテーション病棟

みなさんは「回復期リハビリテーション病棟」(以下回復期病棟)と聞いてどんな病棟を想像しますか?今回は回復期病棟での取り組みを紹介したいと思います。

回復期病棟とは脳卒中や大腿骨頸部骨折・圧迫骨折などの骨折のため、急性期の治療を受けた後、自宅復帰に向けて集中的なリハビリテーション(以下リハビリ)を行う病棟のことです。

特徴として、

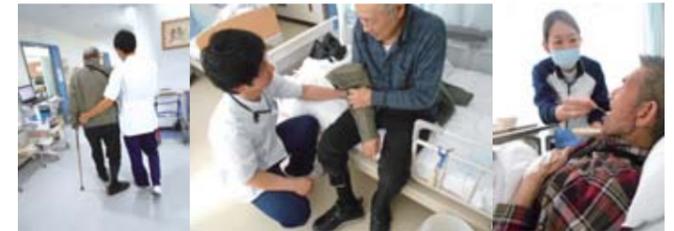
- 1 脳卒中(脳出血や脳梗塞など)や骨折(大腿骨頸部骨折・圧迫骨折など)回復期に入院できる病気やケガが決まっていること。
- 2 「365日毎日リハビリがあること。」が大きな特徴です。

当院回復期病棟でもリハビリ専任医や看護師、リハビリスタッフ(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、相談員(MSW)、栄養士などのスタッフが勤務し、患者さん・家族と共にひとつのチームとなってリハビリに取り組んでいます。



リハビリ

回復期病棟では365日毎日リハビリを行っています!リハビリ内容は様々!!理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの得意分野を活かし患者さんに合わせてリハビリプランを組み立てます!



歩行訓練 ADL訓練 嚥下訓練

関節を動かす練習や筋力訓練、歩行練習、食事やトイレ、入浴動作など朝起きてから夜寝るまでに行う日常生活の動作練習を中心に行います。それ以外にも、調理などの家事動作練習や職場復帰に向けて畑仕事やパソコンの練習なども行ったりします。

退院前、退院時訪問

入院中から自宅の環境に合わせてリハビリが行えるよう「家屋調査」を実施しています。リハビリスタッフ、介護支援専門員(ケアマネージャー)が患者さん・ご家族と一緒に自宅へ伺い、動作確認や家屋内の手すり設置などの住宅改修の提案を行うものです。



また、「手すりを付けただけで実際に家に帰ってから不安・・・」という患者さんには退院時にもご自宅にお邪魔し動作確認や介助方法のアドバイスをしています!

カンファレンス

毎月1回患者さん・ご家族、病院の担当スタッフが集まり話し合いをしています!ここでは、退院に向けて患者さんやご家族の意向を確認し目標を決定します!その目標に向けて何をやるべきか、どういう準備をする必要があるかをみんなで話し合います。



家族指導

退院後も皆さんには様々な不安や疑問があると思います。また、実際に介助してみたら病院の人達がやっているみたいに全然できない!なんて声も実際に聞かれます!そのため、退院後も安心してご自宅で生活が送れるよう入院中からリハビリスタッフや看護師が実際に介助方法の指導や生活上のアドバイスをサポートを行います。



当院では退院後も皆様のサポートが継続できるよう通所リハビリや訪問リハビリ、介護予防事業を行っています。私達はリハビリテーションを通じて三角、大矢野地域のみなさんが心も体も健康的に安心して生活できる地域づくりを目標にこれからもサポートをしていきます!なにかお困りのことなどございましたらいつでもご相談ください!





10月20日(日) 第10回 健康フェスタ2019を開催しました。

10月20日(日)健康フェスタを開催しました。今年度は「平成から令和へ～つなげよう健康の輪 広げよう地域の輪～」をテーマに10周年という節目の年を大いに盛り上げようと準備を行ってまいりました。

これまで職員用の駐車場としてお借りしていた旧三角中学校跡地に防災拠点センターの建設が始まったため、海沿いにあるメディカル・カレッジ青照館にご協力いただき、フェスタ当日は朝から公用車で職員を送迎するところから始まりました。

午前10時からの開始予定でしたが、受付には早くから地域の方がお見えになり11時になる頃には院内の体験コーナーも多くの方で賑わっていました。各ブースを回り、スタンプを5つ集めると500円分のお買い物券をもらうことができます。その券を使って、お昼時には多くの方が地元の商工会やケータリングカーのランチを楽しまれました。また、目玉として若者の間で流行しているタピオカドリンクを職員が作り販

売しました。売れ行きは好調でしたが、乾燥タピオカを茹でるのは一苦勞だったようです。

メインステージの総合司会には「ばってん城次」さんをお迎えし、午前中は地域の保育園児による体操と太鼓の演奏、小中学生による吹奏楽やソーラン節で会場を盛り上げていただきました。また、午後からは今回初登場のチアリーディングや例年好評の医師による健康づくり講演会、ばってん城次さんらによる「肥後にわか」を披露していただきました。会場は笑い声に包まれ、終了時には「また来年も楽しみにしています!」という嬉しい言葉も聞かれました。

開催前から何件も電話で問い合わせを頂いており、地域のイベントとして定着したことを職員一同実感しています。おかげさまで今回は1,252名の方にご来場いただきました。今後もみすみ病院の理念である医療・福祉を通じて安心して生活できる地域創りに貢献できるよう努めてまいります。

健康フェスタプロジェクト事務局

第10回 健康フェスタ 思い出スナップ



● チアリーディング



● ばってん城次さん



● みすみ保育園児による体操



● わかき保育園児による和太鼓

● 三角小学校生徒による吹奏楽



● 健康づくり講演会



● 出店

緑日・抽選会 地域との触れ合い 緑日ブース



● お楽しみ抽選会



● 緑日

体験コーナー 職員による 健康相談コーナー



● 栄養相談



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

職員交流ボウリング大会

みすみ病院の恒例行事である職員交流ボウリング大会を9月6日に行いました。昨年に引き続き、今年も“部署対抗”での開催となりました。

庄野院長の勢いある始球式でスタートし、各部署の精鋭たちは一球一球に力を込めて2ゲームを完投しました。その間、各チームからは笑い声や声援が聞かれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

どの部署も日頃のチームワークの良さを発揮し白熱した戦いとなりましたが、優勝は医事室&庄野院長チームでした。

今後もこのチームワークを活かし、日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。

職場改善委員会



HIV/AIDSについての研修会

数年前から熊本大学病院 地域医療連携センターを訪問する際、「AIDS患者さんが高齢化しており、また県全域に在住されている為、いつこの病院を受診されるか分からない状況にある。よって、是非地域の医療機関にもHIV/AIDSの現状を知ってもらい、協力してほしい」とのお声を頂いておりました。そして今回ようやく、熊本大学病院 HIV支援チームをお招きし、9月24日に研修会を行うことができました。講義は血液・膠原病・感染症内科の中田浩智先生、日本エイズ学会認定HIV感染症看護師の高木雅敏様から、HIV/AIDSの基礎知識と現状、感染対策、患者への支援やプライバシー・セクシャリティーへの配慮などを分かりやすく講義頂きました。また今回、近隣の医療機関、介護事業所へもお声かけしたのですが、17名の参加があり関心の高さを感じました。今後も機会があればこのような研修会を行っていききたいと思います。

医療連携部



部署紹介★

お客様の「おいしい!」という声と笑顔をもっと増やせるように

ローソン済生会みすみ病院店(以下、売店)は今年で11年目を迎え、レストランは今年で16~17年を迎えます。総勢8名で協力し合い、がんばっています。

売店ではレンタルパジャマ・レンタルオムツのサービス業務、近所の専門学校への弁当販売も行います。新商品を始め、話題のスイーツなども取りそろえてお客様のお越しをお待ちしております。

レストランでは日替定食を作ったり、専門学校生への弁当を作ったり日々メニューを考えながら和気あいあいと仕事をしています。お客様の「おいしい!」という声と笑顔をもっと増やせるように日々精進したいと思います。

支部(売店・レストラン)



お知らせ

SAISEIKAI MISUMI
HOSPITAL

家族のためにも年に1度は健康チェックを!!

人間ドックのご案内

みすみ病院健診センターでは人間ドックや専門ドック、各種健康診断を実施しております。年1回の健康チェックにご利用ください。

主な健診コース

- 1 生活習慣病予防健診 (協会けんぽ加入の方対象:補助有り)
- 2 日帰り人間ドック (個人や健康保険組合加入者対象)
- 3 脳ドック (MRI・頸部血管超音波検査他)
- 4 乳がんドック (乳腺超音波検査+乳房X線検査)
- 5 大腸ドック (全大腸内視鏡検査)
- 6 ロコモ健診 (骨密度・下肢筋力・立ち上がり検査他)
- 7 労働安全衛生法法定健診 (企業の方対象)
- 8 宇城市、上天草市 国保特定健診・後期高齢者健診・乳がん検診など

※すべて日帰り、事前予約が必要です。



検査内容・曜日・所要時間・料金などお問い合わせ

TEL.0964-53-1617

平日:午後2時~4時まで

